

社会学研究室文献リスト〔2016 年度〕

- ・朝井志歩, 2009, 「基地騒音対策の問題点 受苦の集中的局地化」『都留文科大学研究紀要』70:69-88.
- ・旭川市, 2016a, 『第 8 次旭川市総合計画 世界にきらめく いきいき旭川』.
- ・旭川市, 2016b, 「旭川市教育大綱」.
- ・旭川市, 2016c, 「旭川市新庁舎建設基本計画 (案)」.
- ・旭川市教育委員会, 2009, 「旭川市社会教育基本計画 (平成 21 年度～平成 27 年度)」.
- ・旭川市教育委員会, 2016, 「旭川市社会教育基本計画」.
- ・旭川市教育委員会社会教育部, 2016a, 『旭川市社会教育基本計画 平成 27 年度 点検・評価』.
- ・旭川市教育委員会社会教育部, 2016b, 『旭川市社会教育基本計画 平成 27 年度 事務事業及び施策評価シート』.
- ・阿部真大, 2011, 『居場所の社会学 生きづらさを超えて』日本経済新聞出版社.
- ・アレクシエービッチ, S., 1998=2011, 『チェルノブイリの祈り 未来の物語』岩波現代文庫.
- ・アン・ビョンウ／キム・ヒョンジョン／イ・グヌ／シン・ソンゴン／ハム・ドンジュ／キム・ジョンイン／パク・チュンヒョン／チョン・ヨン／ファン・ジスク (三橋広夫／三橋尚子訳), 2014=2015, 『世界の教科書シリーズ 42 東アジアの歴史 韓国高等学校歴史教科書』明石書店.
- ・池内了, 2016, 『科学者と戦争』岩波書店.
- ・石狩市, 2015, 『ISHIKARI PRIDE 第 5 期石狩市総合計画 2015-2022』.
- ・石狩市観光協会, 2015, 「石狩さけ」.
- ・石川文洋, 2015, 『フォト・ストーリー 沖縄の 70 年』岩波新書.
- ・石川文洋, 2016, 『基地で平和はつukれない 石川文洋の見た辺野古』新日本出版社.
- ・石坂悦男, 2016, 「現代の戦争と取材・報道の自由 ジャーナリスト後藤健二の仕事と人質殺害事件」『社会志林』62(4):117-156.
- ・石田佐恵子／山田富秋編, 2015, 「特集：映像アーカイブズを利用した質的調査の探求」『社会学評論』65(4):454-573.
- ・石田光規, 2009, 「転職におけるネットワークの効果 地位達成とセーフティネット」『社会学評論』60(2):279-296.
- ・色川大吉, 1964=1976, 『明治精神史 (上・下)』講談社学術文庫.
- ・岩崎信彦, 2016, 「災害資本主義とリスクマネジメント 阪神大震災 20 年と東日本大震災 4 年から見えてくること」『地域社会学会年報』28:45-60.
- ・上山隆大, 2010, 『アカデミック・キャピタリズムを超えて アメリカの大学と科学研究の現在』NTT 出版.
- ・鵜飼保雄, 2015, 『トウモロコシの世界史 神となった作物の 9000 年』悠書館.
- ・嬉野京子, 2015, 『戦場が見える島沖縄 50 年間の取材から』新日本出版社.

- ・ AIRDO, 2016, 「北海道の翼 | 株式会社 AIRDO 統合レポート 2016」.
- ・ NHK「東海村臨界事故」取材班, 2006, 『朽ちていった命 被曝治療 83 日間の記録』新潮文庫.
- ・ 江別市, 2015, 「江別 市勢要覧」.
- ・ 近江八幡観光物産協会, 1994=2008, 「建築にみるヴォーリズと近江八幡」.
- ・ 近江八幡市史編纂室編, 2003, 『水辺の記憶 近江八幡市・島学区の民族誌』.
- ・ 近江八幡市文化振興事業団, 1998, 「瓦が伝える歴史と文化 かわらミュージアム概要」.
- ・ 近江八幡市立資料館, 2002, 『近江八幡と朝鮮通信使 八幡山の宴』.
- ・ 岡田克也, 2014, 『外交をひらく 核軍縮・密約問題の現場で』岩波書店.
- ・ 桶川泰, 2016, 「恋愛ハウトゥーが提供する純粋な関係性をめぐる自己知 1985 年から 2007 年までの女性誌を分析資料として」『社会学評論』67(1):2-20.
- ・ 小田原城天守閣編, 2016, 『小田原城天守閣展示案内』.
- ・ 外務省, 2014, 『われらの北方領土 2013 年版』.
- ・ カオスとロゴス編集部編, 1999, 「特集: 転機としての 1972 年」『カオスとロゴス』15:6-47.
- ・ 門野圭司, 1999a, 「NTT 事業とリゾート開発」『横浜国際開発研究』4(1):34-55.
- ・ 門野圭司, 1999b, 「日本における公共事業と政府間財政関係 1980 年代以降の再編過程」, 日本地方財政学会編, 『地方財政改革の国際動向』勁草書房, pp.130-151.
- ・ カネミ油症被害者支援センター編, 2006, 『カネミ油症 過去・現在・未来』緑風出版.
- ・ 上川管内社会教育委員連絡協議会, 2016, 『平成 27 年度研究紀要』.
- ・ 上ノ国町教育委員会, 2006, 「たずねてみようエゾガ島の中世 史跡勝山館跡」.
- ・ 刈谷剛彦, 2016, 「国立大学の憂鬱 批判のレトリックをめぐる攻防」『書齋の窓』645:75-79.
- ・ 川名英之, 2005, 『検証・カネミ油症事件』緑風出版.
- ・ 川本輝夫 (久保田好生/阿部浩/平田三佐子/高倉史朗編), 2006, 『水俣病誌』世織書房.
- ・ 環境再生保全機構, 2016, 「地球環境基金便り 第 40.41 号」.
- ・ 菅野仁, 2008, 『友だち幻想 人と人の〈つながり〉を考える』ちくまプリマー新書.
- ・ 金漢宗 (國分麻里/金玟辰訳), 2013=2015, 『韓国の歴史教育 皇民臣民教育から歴史教科書問題まで』明石書店.
- ・ 木村力一, 1985, 「北海道内産鯨類化石について」『地団研専報』30:137-140.
- ・ 共同通信社内政部編, 1998, 『全国自治体トップアンケート '98 3302 人の首長が描く等身大の日本』共同通信社.
- ・ 熊本学園大学ミナマタ学研究センター編, 2014, 『【新版】ガイドブック 水俣を歩き、ミナマタに学ぶ』熊本日日新聞社.
- ・ 来間泰男, 2014a, 『シリーズ沖縄史を読み解く 4 琉球王国の成立 日本の中世後期と琉球中世前期【上】』日本経済評論社.
- ・ グループプロジェクト M・石狩伝統文化実行委員会編, 2015, 「石狩市・北部エリア 浜益 海と魚と歴史を探る」.

- ・黒崎卓, 2016a, 「途上国の経済発展 インドから考える 第1回 デリーへの道」『書齋の窓』 648:59-63.
- ・小出裕章／渡辺満久／明石昇二郎, 2012, 『「最悪」の核施設六ヶ所再処理工場』集英社新書.
- ・小篠隆生, 2015, 「地域の持続可能性を高めるための大学キャンパスの役割に関する実証的研究」『開発こうほう』 622:28-33.
- ・小松隆二／伊藤眞知子編, 2006, 『大学地域論 大学まちづくりの理論と実践』論創社.
- ・今野晴貴, 2012, 『ブラック企業 日本を食いつぶす怪物』文春新書.
- ・坂井宏光, 2015, 「カネミ油症事件の歴史認識と環境教育の方法論」『社会環境学』 4(1):1-16.
- ・佐賀県教育委員会編, 2014a, 「弥生時代の吉野ヶ里 集落の誕生から終焉まで」.
- ・佐賀県教育委員会編, 2014b, 「なぜ・なに? 吉野ヶ里遺跡 日本最大の環濠集落跡」.
- ・札幌 E 企画委員会編, 2015, 『築別炭砒よもやま話』.
- ・佐藤栄佐久, 2009, 『知事抹殺 つくられた福島県汚職事件』平凡社.
- ・佐藤俊樹, 2016a, 「ウェーバーの社会学方法論の生成 第1回 社会科学は何をする?」『書齋の窓』 646:57-63.
- ・佐藤俊樹, 2016b, 「ウェーバーの社会学方法論の生成 第2回 人文学と自然科学の間で」『書齋の窓』 647:74-81.
- ・佐藤俊樹, 2016c, 「ウェーバーの社会学方法論の生成 第3回 リッカートの文化科学 価値関係づけの円環」『書齋の窓』 648:69-76.
- ・佐藤俊樹, 2016d, 「ウェーバーの社会学方法論の生成 第4回 コミュニケーションシステム論と文化科学」『書齋の窓』 649:37-43.
- ・佐巻健男, 2015, 『ニセ科学を見抜くセンス』新日本出版社.
- ・資源エネルギー庁, 2014, 「核燃料サイクル・最終処分に関する現状と課題」.
- ・静岡大学地域連携協働センター／生涯学習教育研究センター編, 2009, 「奄美―鹿児島―静岡 棚田交流記念 静岡大学公開シンポジウム いま、食と農を問う 報告書」.
- ・思想の科学研究会編, 1959, 『共同研究 転向 (上)』平凡社.
- ・島崎稔／安原茂編, 1987, 『重化学工業都市の構造分析』東京大学出版会.
- ・島本美保子, 2016, 「持続可能性のための政治経済学に向けて」『社会志林』 62(4):77-93.
- ・ジャパン・プラットフォーム, 2016, 「東日本大震災被災者支援 2015 年度報告書」.
- ・白波瀬佐和子／竹内俊子, 2009, 「人口高齢化と経済格差拡大・再考」『社会学評論』 60(2):259-278.
- ・鈴木達治郎／猿田佐世編, 2016, 『アメリカは日本の原子力政策をどうみているか』岩波ブックレット.
- ・生協総合研究所編, 2016a, 「特集：人手が足りない！その真実と、今後の対応」『生活協同組合研究』 481:4-45.
- ・生協総合研究所編, 2016b, 「特集：現代日本の税制度と税の持つ意味を考える」『生活協同組合研究』 485:4-52.

- ・生協総合研究所編, 2016c, 「特集：年金を考える 公的年金制度に対する公平感や不安をめぐって」『生活協同組合研究』489:4-56.
- ・生協総合研究所編, 2016d, 「特集：幸福について考える」『生活協同組合研究』490:4-55.
- ・関根達人, 2016, 『モノから見たアイヌ文化史』吉川弘文館.
- ・せたな町, 2016, 「せたな町合併 10 周年記念誌 せたなのせなか 10 年を振り返る。未来へ向かって。」.
- ・全国社会教育委員連合編, 2016, 『社教情報』vol.74.
- ・高島忠平監修／折尾學編, 2010=2014, 「『三国志』『魏書東夷伝倭人の条』通称『魏志倭人伝』読み下し文・注釈【校訂】」吉野ケ里公園管理センター.
- ・鷹栖町, 2016, 「町政・教育行政執行方針『平成 28 年度 まちづくりの方針』／私たちのまちづくり『平成 28 年度 まちづくりの予算』」.
- ・高橋彦博, 1991, 『保守の英知と革新 社会民主主義の新展開』花伝社.
- ・高橋康史, 2016, 「犯罪者を家族にもつ人々はいかにしてスティグマを内在化するのか 恥の感情に注目して」『社会学評論』67(1):21-38.
- ・田中英夫, 1979, 『憲法制定過程覚え書』有斐閣.
- ・谷岡一郎／仁田道夫／岩井紀子編, 2008, 『日本人の意識と行動 日本版総合的社会調査 JGSS による分析』東京大学出版会.
- ・玉村雅敏／小島敏明編, 2016, 『東川スタイル 人口 8000 人の町が共創する未来の価値基準』産学社.
- ・太郎丸博／大谷信介, 2015, 「特集：社会学は政策形成にいかに関与しうるか」『社会学評論』66(2):166-294.
- ・淡野明彦編, 2016, 『観光先進地ヨーロッパ 観光計画・観光政策の実証分析』古今書院.
- ・地域社会学会編, 2016, 「特集：『復興』と『地方消滅』：地域社会の現場から」『地域社会学会年報』28:5-44.
- ・千葉保, 2011, 『食からみえる「現代」の授業』太郎次郎社.
- ・千葉保監修／コンビニ弁当探偵団, 2005, 『コンビニ弁当 16 万キロの旅 食べ物が世界を変えている』太郎次郎社.
- ・地方自治総合研究所編, 1996, 『地方分権の戦略 市民自治の地方政府づくり』第一書林.
- ・中鉢令児, 2016, 「平成 27 年度札幌市大学提案型共同研究事業 MICE を共通プラットフォームにした創造都市の研究実施報告書 アメリカ MICE 都市を事例として」.
- ・土井原奈津江編, 2015-16, 「グループリビング訪問記 自由な暮らし・自分らしくともに住まう。」.
- ・徳田博人, 2015, 「辺野古新基地建設の阻止と沖縄防衛局の審査請求問題」『季刊 自治と分権』60:57-68.
- ・中島岳志, 2011=2013, 『秋葉原事件 加藤智大の奇跡』朝日文庫.
- ・永田富智, 2004=2014, 「新選組と松前」松前町史に親しむ会.

- ・中村泰男, 1992, 『アメリカ連邦議会論』勁草書房.
- ・成瀬麻タ／川畑智子, 2016, 「日本の大学におけるハラスメント関連資料から見えた特徴 テキスト分析を用いたセクシュアル・ハラスメント事例の検討」『現代社会学研究』29:43-61.
- ・西城戸誠／宮内泰介／黒田暁, 2016, 『震災と地域再生 石巻市北上町に生きる人々』法政大学出版局.
- ・西山太吉, 2015, 『決定版 秘密を開示せよ 裁かれた沖縄密約』岩波書店.
- ・日本科学者会議編, 2016, 「特集：どうなる？リニア中央新幹線 その必要性、採算性、安全性を科学の目で捉える」『日本の科学者』51(9):5-29.
- ・日本原子力研究開発機構 (JAEA), 2014-2016, 「季刊 未来へげんき」NO.34-35, 38-40.
- ・日本原子力研究開発機構 (JAEA) 広報部広報課, 2016, 『環境報告書 2015』.
- ・日本社会学会編, 2016, 「公募特集：現代社会と生きづらさ」『社会学評論』66(4):446-551.
- ・日本製紙, 2015, 『日本製紙グループ CSR 報告書 2015』.
- ・野宮大志郎／西城戸誠, 2016, 『サミットプロテスト グローバル化時代の社会運動』新泉社.
- ・橋本健二／初田香成編, 2013, 『盛り場はヤミ市から生まれた』青弓社.
- ・長谷部俊治, 2016, 「政策の失敗はなぜ起きるのか 水俣病と原発事故への対応から」『社会志林』62(4):53-75.
- ・樋口健二, 1983=2015, 『増補新版 毒ガスの島』こぶし書房.
- ・平賀洋明編, ****, 「知りたいむかしの根室」.
- ・広田伊蘇夫／暉峻淑子編, 1987, 『調査と人権』現代書館.
- ・藤原邦達, 1981, 『食品公害の脅威』合同出版.
- ・北網地域活性化協議会, 2013, 『チビスロウ オホーツクの風土を味わう 北網 10 市町 2013』クナウマガジン.
- ・北網地域活性化協議会, 2014, 『チビスロウ 風土に育まれたオホーツク文化 北網 10 市町 2014』クナウマガジン.
- ・保坂渉／池谷孝司, 2012, 『ルポ 子どもの貧困連鎖 教育現場の SOS を追って』光文社.
- ・星野保, 2015, 『菌世界紀行 誰も知らないきのこを追って』岩波書店.
- ・北海道, 1999, 「環境アセスメント 北海道環境影響評価条例のあらまし」.
- ・堀田恭子, 2016a, 『油症事件の被害構造と油症被害者の受容克服過程に関する社会学的研究 2013-2015 年度科学研究費補助金（基盤研究（C））研究成果報告書』.
- ・堀田恭子, 2016b, 「台湾油症事件に関する調査研究レビュー」『立正大学文学部研究紀要』32:23-36.
- ・堀田恭子編, 2016, 『油症事件の被害構造と油症被害者の需要克服過程に関する社会学的研究 2013-15 年度科学研究費補助金（基盤研究(C)）研究成果報告書』.
- ・町村敬志編, 2012, 『都市社会学セクションⅢ 都市の政治経済学』日本評論社.
- ・松林哲也, 2015, 「世論調査の回答率と投票率の推定誤差」『レヴァイアサン』57:96-117.
- ・松前町教育委員会編, 2011, 『日本最北の城下町 松前の文化財』.

- ・松前町史に親しむ会，2001，『松前町かわら版 創刊号～第 52 号合併号（昭和 63 年 2 月～平成 12 年 9 月）』。
- ・松前町長史編集室編，1994=2006，『松前城築城 400 周年記念 概説松前の歴史【改訂版】松前町』。
- ・松本大学地域まちづくり考房「ゆめ」編，2015，『松本大学地域づくりコーディネーター養成講座講義録 気づきから築きへー。』松本大学。
- ・松元雅和，2013，『平和主義とは何か 政治哲学で考える戦争と平和』中公新書。
- ・松山礼華，2016，「若者の地域参加に向けた組織構造に関する一考察 千葉県柏市のまちづくり団体を事例に」『地域社会学会年報』28:93-107。
- ・マルクス，K.（向坂逸郎訳），1969，『資本論（八）』岩波文庫。
- ・マルクス，K.（向坂逸郎訳），1970，『資本論（九）』岩波文庫。
- ・宮本憲一／猿橋均，2015，「対談：戦後日本の地方自治 新自由主義と自治研運動」『季刊 自治と分権』60:24-44。
- ・文部科学省生涯学習政策局／初等中等教育局，2016，「地域と学校の連携・協働の推進に向けた参考事例集」。
- ・山口県県民学習部生涯教育推進センター，2013，『実践に学ぶ人づくり・地域づくり 第 8 回人づくり・地域づくりフォーラム in 山口実践発表資料』山口県ひとづくり財団。
- ・山口智美／能川元一／テッサ・モーリス・スズキ／小山エミ，2016，『海を渡る「慰安婦」問題 右派の『歴史戦』を問う』岩波書店。
- ・山崎由希子，2016，「バスク協同組合視察報告」『生活協同組合研究』489:57-61。
- ・山城博明，2015，『抗う島のシュプレヒコール OKINAWA のフェンスから』岩波書店。
- ・山田昌弘，2014，『家族難民 生涯未婚率 25%社会の衝撃』朝日新聞出版。
- ・山梨学院大学行政研究センター編，1997，『分権段階の自治体と政策法務 地方自治ジャーナルブックレット 17』公人の友社。
- ・山本由美，2015，「平成の学制大改革と学校統廃合 地域の学校を守るために」『季刊 自治と分権』60:79-90。
- ・吉永潤，2015，『社会科は「不確実性」で活性化する 未来を開くコミュニケーション型授業の提案』東信堂。
- ・吉野高幸，2010，『カネミ油症 終わらない食品被害』海鳥社。
- ・吉村弘，1998，『最適都市規模と市町村合併』東洋経済新報社。
- ・レヴァイアサン編集委員会編，2015，「特集：日本における『左右対立』の現在」『レヴァイアサン』57：6-95。
- ・レヴァイアサン編集委員会編，2016，「特集：大阪の都市政治を分析する」『レヴァイアサン』59:5-129。
- ・歴史街道編集部編，2016，「特集：鍋島直正と近代化に挑んだ男たち 幕末佐賀藩と三重津海軍所」『歴史街道』20(3):115-130。

- ・歴史と自然を守る会編, 2016, 「ふるさとの自然と歴史」第 372 号.
- ・若森章孝編, 2008, 『食と環境 問われている日本のフードシステム』晃洋書房.
- ・Carr, E.H., 1951, *The New Society*, Curtis Brown Ltd. (=清水幾太郎訳, 1953, 『新しい社会』岩波新書).
- ・Giddens, A., 2014, *Turbulent and Mighty Continent: What Future for Europe?*, Cambridge: Polity Press. (=脇坂紀行訳, 2015, 『揺れる大欧州 未来への変革の時』岩波書店).
- ・Harbermas, J., 2008, *Ach, Europe: Kleine Politische Schriften XI*, Frankfurt am Main: Suhrkamp Verlag. (=三島憲一／鈴木勅／大賀敦子訳, 2010, 『ああ、ヨーロッパ』岩波書店).
- ・Heller, H., 1934, *Staatslehre*, Herausgegeben von Gerhart Niermeyer, Holland: Leiden. (=安世舟訳, 1971, 『国家学』未来社).
- ・Hunt, L., 2014, *Writing History in the Global Era*, New York: W.W. Norton & Company, Inc.. (=長谷川貴彦訳, 2016, 『グローバル時代の歴史学』岩波書店).
- ・Malinowski, B., 1929, *The Sexual Life of Savages in North-Western Melanesia*, New York: Eugenics. (=泉靖一／蒲生正男／島澄訳, 1956=1968, 『未開人の性生活』ぺりかん社).
- ・Poguntke, T., and Webb, P., 2005=2007, *The Presidentialization of Politics: A Comparative Study of Modern Democracies*, Oxford: Oxford University Press. (=岩崎正洋監訳, 2014, 『民主政治はなぜ「大統領制化」するのか 現代民主主義国家の比較研究』ミネルヴァ書房).

社会学ゼミであつかった文献一覧<2016 年度>

- ・塩原良和／竹之下弘久編, 2010, 『社会学入門』弘文堂.

社会学演習であつかった文献一覧<2016 年度>

- ・玉野和志, 2010, 「大都市地域の生成・発展とそのゆくえ 東京圏を事例として」『日本都市社会学会年報』28:39-52.
- ・増田壽男／今松英悦／小田清編, 2006, 『なぜ巨大開発は破綻したか 苫小牧東部開発の検証』日本経済評論社.
- ・御厨貴編, 2012, 『『政治主導』の教訓 政権交代は何をもたらしたのか』勁草書房.
- ・森岡清志編, 2012, 『都市社会学セレクションⅡ 都市空間と都市コミュニティ』日本評論社.

社会学特論 B であつかった文献一覧<2016 年度>

- ・石田浩／近藤博之／中尾啓子編, 2011, 『現代の階層社会 2 階層と移動の構造』東京大学出版会.
- ・佐藤嘉倫／尾嶋史章編, 2011, 『現代の階層社会 1 格差と多様性』東京大学出版会.